ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合用

ＧＸ形チェーンレバーホイスト

取扱説明書

呼び径３００・４００用

⚠ ご使用前に必ずお読みください

購入年月日：　　年　　月　　日

お買い上げ店名：

－お願い－

- この取扱説明書はお使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
- この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

この取扱説明書は、ＧＸ形チェーンレバーホイストを正しく、安全に使用していただくための注意事項を記載したものです。（誤った使用方法は、事故・けがの原因となります）

本取扱説明書は、ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管の接合要領そのものに関しては、お客様が理解されているものとした上で、接合工具の使用方法と使用上の注意に限定しています。

*本書の記載事項は、予告無く変更することがあります。20140401

○安全にご使用頂くための注意事項

⚠ 警告　このマークは、その事項を守らないと使用者または第三者が、死亡または重傷を負う危険性がある内容を示します。

⚠ 注意　このマークは、その事項を守らないと使用者または第三者が、傷害を負ったり、物的な損害が発生する可能性のある内容を示します。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守って下さい。

	⚠ 警告
○	本製品はＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管（直管受口及び P-Link）を接合するためのレバーホイストです。本製品をＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管の接合以外の用途に使用される場合の取扱いは、レバーホイスト本体（バイタル工業株式会社製　NR_2－２０）の取扱説明書に従って下さい。
○	作業の際は安全靴・ヘルメット・保護手袋等を着用して下さい。
○	レバーホイストに定格荷重 2.0tf 以上の荷重を加えないで下さい。
○	レバーを故意に長くして使用しないで下さい。
○	荷重超過により、部品に変形が生じたものは使用しないで下さい。
○	使用前には必ず点検を行い、部品の変形など異常があった場合は使用しないで下さい。
○	上下フックとチェーンが曲がらずに一直線になるように使用して下さい。
○	チェーンがねじれたり、キンクしたままで使用しないで下さい。
○	巻下げすぎ、巻上げすぎにならによう注意して下さい。
○	管の接合途中、レバーホイストが負荷状態にあるとき、接合しようとする管を大きく揺らさないで下さい。
○	レバーホイストに足などを引っ掛けて転倒しないよう注意して下さい。
	⚠ 注意
○	レバーホイスト２台を用いた接合では、片引きにならないように、各レバーホイストを均等に操作して下さい。
○	傷付き防止用ゴム取り付けねじが緩んだ状態で使用しないで下さい。
○	レバーホイストの取り付け・取り外し時には、レバーホイストの落下に注意して下さい。
○	直射日光を避け、湿気のないところに吊るして保管して下さい。
○	接合時に管の外面塗装を損傷した場合は、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」に従った補修を行って下さい。
○	使用方法に関してご不明な点がある場合、お買い上げ店までお問い合わせ下さい。

（目次）

１．ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管（直管受口及び P-Link）の接合工具・・・・・・・・・・3
２．ＧＸ形チェーンレバーホイストの仕様・各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・3
３．ＧＸ形チェーンレバーホイストによる接合方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4
３．１ ＧＸ形チェーンレバーホイストの使用台数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4
３．２ ＧＸ形チェーンレバーホイストの使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・5
３．３ 直管の接合方法 ・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
３．４ 短管の接合方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
３．５ 異形管の接合方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
３．６ P-Link の取り付け方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

１．ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管（直管受口及びP-Link）の接合工具

ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管の直管受口の接合及び P-Link の取り付けには、以下の工具が必要です。

本製品以外の工具に関しては、別途、ご準備下さい。

必要工具の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

①	ＧＸ形チェーンレバーホイスト（本製品）	２台
②	ラウンドスリング（別売品）※	４本
③	ゴム輪位置チェックゲージ（別売品）	１個
④	トルクレンチ（別売品）	１個
⑤	隙間ゲージ（厚さ 0.5 ㎜）（別売品）	１個

※ＧＸ形ラウンドスリングのご使用をお勧めします。

> ⚠ **警告**　ＧＸ形チェーンレバーホイストを用いた接合には、最大使用荷重 2.0tf 以上のラウンドスリングを使用して下さい。また、取扱いについては使用するラウンドスリングの取扱説明書に従って下さい。

２．ＧＸ形チェーンレバーホイストの仕様・各部名称

本　　体	：	バイタル工業株式会社製　ＮＲ$_2$－２０
定格荷重	：	2.0 tf
傷付き防止用養生ゴム	：	厚さ 8 ㎜
フックカバー	：	幅 120 ㎜×長さ 200 ㎜（ポリエステル製）

写真１　ＧＸ形チェーンレバーホイストの各部名称

３．ＧＸ形チェーンレバーホイストによる接合方法

３．１　ＧＸ形チェーンレバーホイストの使用台数

接合する継手の形態により、使用するＧＸ形チェーンレバーホイストの台数は異なります。
標準的な接合方法におけるＧＸ形チェーンレバーホイスト使用台数は表１のとおりです。

表１　ＧＸ形チェーンレバーホイストの使用台数

		挿し口側管種			
		直管	短管	異形管	切管
受口側管種	直管 既設短管※1	１台 （１点引き）	２台 （２点引き）	２台 （２点引き）	－
	短管	２台 （２点引き）	２台 （２点引き）	２台 （２点引き）	－
	P-Link	－	－	－	２台 （２点引き）

※１．既設短管とは、既に固定されている短管で接合時に動かないものを指します。

⚠ **注意**　２点引きによる接合時は片引きにならないように、各ＧＸ形チェーンレバーホイストを均等に操作して下さい。片引きの場合、正常な接合が出来ない場合があります。

⚠ **注意**　継手接合手順の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

３．２　ＧＸ形チェーンレバーホイストの使用方法

（１） 接合継手へのセット

① 受口側と挿し口側に巻き付けたラウンドスリングに、ＧＸ形チェーンレバーホイストの上下フックを掛けます。ただし、P-Link の取り付け時には、上フックを P-Link 本体に設けられた穴に掛けて下さい。
② ＧＸ形チェーンレバーホイストの下フック部分にフックカバーを被せます。
③ ダクタイル鉄管の外面塗装の損傷を防ぐため、ＧＸ形チェーンレバーホイストは傷付き防止用養生ゴム面が管外面と接触するように配置して下さい。

写真２　ＧＸ形チェーンレバーホイストのセット状態

（２） 巻上げ操作

① ＧＸ形チェーンレバーホイストのキリカエレバーを左（ＵＰ）方向にします。
② グリップを往復運動させ、チェーンを巻上げます。
③ 負荷がかかるまでにチェーンが弛んでいる時は、ニギリワを時計方向に回すことでチェーンの弛みがとれます。

（３） 巻下げ操作（無負荷状態への変更）

① ＧＸ形チェーンレバーホイストのキリカエレバーを右（ＤＯＷＮ）方向にします。
② グリップを往復運動させれば、巻上げたチェーンが緩みます。

（４） 空転操作（無負荷状態でのチェーンの長さ調整）

① ＧＸ形チェーンレバーホイストのキリカエレバーを中央の位置（Ｎ）に合わせます。自動空転式のため、キリカエレバーを中央の位置（Ｎ）に合わせるだけでチェーンの長さ調節ができます。
② 空転操作がしにくい場合は、キリカエレバーを右（ＤＯＷＮ）方向にしてからハンドルを１～２回動かしてから、再度キリカエレバーを中央の位置（Ｎ）に戻して下さい。

※空転時でも、チェーンを強く引くと、ブレーキが締まりチェーンは動きません。

（５） 使用後の処理

① 使用後は、汚れや水気をよく拭き取り、チェーン、フックの回転部分に油をさして下さい。
② 直射日光を避け、湿気のないところに、吊るして保管して下さい。

⚠ **注意**　継手接合手順の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

３．３　直管の接合方法

直管の接合は、１点引きで行います。

ラウンドスリングを受口側と挿し口側にそれぞれ１本ずつ巻き付けます。このとき、挿し口側のラウンドスリングは、管体に明示された２本の白線よりも外側に巻き付けます。

受口側と挿し口側それぞれに巻き付けたラウンドスリングにＧＸ形チェーンレバーホイストのフックを掛けて巻上げます。

接合に必要な力が大きく、ＧＸ形チェーンレバーホイスト１台での接合が困難な場合は、次頁に示す短管の接合を参考に、ＧＸ形チェーンレバーホイスト２台による接合を行って下さい。

ＧＸ形チェーンレバーホイストを２台使っても接合が困難な場合は、継手の異常が考えられます。接合を直ちに中止し、継手や接合状態の確認（ゴム輪が正常な位置に取り付けられているか、ロックリングが正常な位置に取り付けられているか、滑剤が正常に塗布されているか、継手が屈曲していないかなど）を行って下さい。

写真３　１点引きによる直管の接合

警告　ラウンドスリングは最大使用荷重 2.0tf 以上のものを使用して下さい。また、取扱いについては使用するラウンドスリングの取扱説明書に従って下さい。

警告　管の接合途中、ＧＸ形チェーンレバーホイストが負荷状態のまま、接合しようとする管を大きく揺らさないで下さい。過大な負荷により、ＧＸ形チェーンレバーホイストが破損し重大災害を引き起こす恐れがあります。

注意　継手接合手順の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

３．４　短管の接合方法

直管と短管の接合や短管同士の接合は、１点引きでは継手が屈曲してしまうため困難です。
よって、短管の接合は２点引きで行います。

ラウンドスリングを受口側と挿し口側にそれぞれ２本ずつ巻き付けます。２本のラウンドスリングは、それぞれ管の左右に来るように巻き付けて絞ります。このとき、挿し口側のラウンドスリングは、管体に明示された２本の白線よりも外側に巻き付けます。

管の左右に１台ずつＧＸ形チェーンレバーホイストを取り付け、両側のＧＸ形チェーンレバーホイストを均等に巻上げます。

狭い溝内での接合で、管の横側にＧＸ形チェーンレバーホイストが配置できない場合には、受口側に巻き付けた２本のラウンドスリングをそれぞれ時計の 2 時と 10 時の位置になるように絞り、管斜め上でＧＸ形チェーンレバーホイストを操作します（写真４参照）。

写真４　２点引きによる短管の接合

警告　ラウンドスリングは最大使用荷重 2.0tf 以上のものを使用して下さい。また、取扱いについては使用するラウンドスリングの取扱説明書に従って下さい。

警告　管の接合途中、ＧＸ形チェーンレバーホイストが負荷状態のまま、接合しようとする管を大きく揺らさないで下さい。過大な負荷により、ＧＸ形チェーンレバーホイストが破損し重大災害を引き起こす恐れがあります。

注意　２点引きによる接合時は片引きにならないように、各ＧＸ形チェーンレバーホイストを均等に操作して下さい。片引きの場合、正常な接合が出来ない場合があります。

注意　継手接合手順の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

３．５　異形管の接合方法

異形管の接合は、短管の接合と同様に２点引きで行います。

ラウンドスリングを受口側と異形管側にそれぞれ２本ずつ巻き付けます。２本のラウンドスリングは、それぞれ管の左右に来るように巻き付けて絞ります。

管の左右に１台ずつＧＸ形チェーンレバーホイストを取り付け、両側のＧＸ形チェーンレバーホイストを均等に巻上げます。

狭い溝内での接合で、管の横側にＧＸ形チェーンレバーホイストが配置できない場合には、受口側に巻き付けた２本のラウンドスリングをそれぞれ時計の 2 時と 10 時の位置になるように絞り、管斜め上でＧＸ形チェーンレバーホイストを操作します（写真５参照）。

写真５　２点引きによる異形管の接合

警告　ラウンドスリングは最大使用荷重 2.0tf 以上のものを使用して下さい。また、取扱いについては使用するラウンドスリングの取扱説明書に従って下さい。

警告　管の接合途中、ＧＸ形チェーンレバーホイストが負荷状態のまま、接合しようとする管を大きく揺らさないで下さい。過大な負荷により、ＧＸ形チェーンレバーホイストが破損し重大災害を引き起こす恐れがあります。

注意　２点引きによる接合時は片引きにならないように、各ＧＸ形チェーンレバーホイストを均等に操作して下さい。片引きの場合、正常な接合が出来ない場合があります。

注意　継手接合手順の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

３．６　P-Link の取り付け方法

P-Link の取り付けは２点引きで行います。

切管挿し口側に２本のラウンドスリングを巻き付けます。２本のラウンドスリングは、それぞれの管の左右に来るように巻き付けて絞ります。

P-Link にはＧＸ形チェーンレバーホイストのフックをセットできる穴が２ヶ所あるので、管の左右に１台ずつＧＸ形チェーンレバーホイストを取り付けます。

切管挿し口と P-Link が屈曲した状態にならないように、両側のＧＸ形チェーンレバーホイストの引き込み量を調節しながら巻上げます。

写真６　P-Link の取り付け

> ⚠ **警告**　ラウンドスリングは最大使用荷重 2.0tf 以上のものを使用して下さい。また、取扱いについては使用するラウンドスリングの取扱説明書に従って下さい。

> ⚠ **注意**　２点引きによる接合時は片引きにならないように、各ＧＸ形チェーンレバーホイストを均等に操作して下さい。片引きの場合、正常な接合が出来ない場合があります。

> ⚠ **注意**　P-Link 取り付け手順の詳細に関しては、「ＧＥＮＥＸ形ダクタイル鉄管接合要領書」をご参照下さい。

株式会社クボテック
〒１０３－００２１　東京都中央区日本橋本石町３－３－１０
TEL（０３）３２４５－３７９１　FAX（０３）３２４５－３７９２